

年頭所感



五霞町長

染谷 森雄

明けましておめでとうございます。皆様には、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、町政全般にわたり深いご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は町制20周年の節目の年でもあり、「住民と協働のまちづくり」の一環でもある文化祭、ふれあい祭り、各種大会等に例年以上に多くの住民のご参加を得て、盛会裏に開催することができました。「継続は力

なり」と申します。地域を良くしていくには「地域を知り・愛着を持つ」ことから始まります。今後とも町民の皆様、各種団体の皆様には行政に参画いただき、共に支え合いながら五霞町の発展を目指してまいりたいと思っておりますのでご協力のほどよろしくお願い致します。

近年、各地で自然災害が多発しておりますが、昨年、本町では幸いにして大きな災害はなく、平穏な一年でした。11月に予定した「五霞町防災の日」の避難訓練は雨天のため中止となりましたが、災害はいつ発生するかも

予測はできません。町も地域防災力の一層の向上に努めてまいります。皆様の「自分の身は自分で守る」という日々の心の備えが基本です。一人一人の防災意識を高めていただきますようお願い致します。

「第五次五霞町総合計画後期基本計画」も残り3年となり、多くの事業が実行時期に入っております。圏央道五霞インターチェンジ周辺開発では昨年、二社の物流企業の進出が決定しました。今後は住民の皆様也希望でもあります、商業施設の誘致を目指し、事業の推進を図って

まいります。また、公共交通を始め、町道や教育施設の整備、少子高齢化対策、人口減少対策等、課題が山積しておりますが、どれも五霞町の将来にとって大切な事業でありますので、本町の持つ発展可能性を最大限に活かしながら計画の実現に向け、役場職員一体となり果敢に取り組んでまいります。

今年も町民皆様のご理解、ご支援をお願い申し上げます。に、本年が、皆様一人一人にとって実り多き素晴らしい一年となりますよう心からお祈りし、新年のご挨拶と致します。

新春を迎えて



五霞町議会議長

宇野 進一

明けましておめでとうございます。議会を代表しまして新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様には、平成29年の健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から町政発展に対するご理解、ご協力を賜りまして、心から厚くお礼を申し上げます。

さて、ここ数年、毎年のように日本各地で大地震や大雨などの自然災害により、甚大な被害

がもたらされています。本町においても、現在、首都圏氾濫区域堤防強化対策事業が実施されており、町民の皆様への安心・安全をより確実なものにするため、日々事業が進められているところでございます。

こうした中、昨年、町では町制施行20周年の節目を迎えました。そして、現在、圏央道五霞インターチェンジ周辺開発が着実に進んでおり、一部進出企業も決定したところでございます。

また、本年度中には、圏央道も茨城県の未開通区間が開通する予定となっております、五霞町発展

のための好条件が揃うところまでできております。町議会としては、町政へのチェック機能を一層強化し、民意を的確に反映した町政の実現に努めていきたいと考えております。

次代を担う若者の意見の重要性を鑑み、昨年11月に中学生議会を開催し、未来の五霞町のための要望等の提案がございました。中学生議員から議会への要望もいただきました。町民の皆様にもっと政治に関心を持っていただけるよう、より一層分かりやすい議会を目指していく所存でございます。

結びに、財政事情の厳しさは変わるところはございませんが、町民の皆様が安心して暮らせるまちづくりに邁進し、無駄のない行政運営と町政発展のため、議会活動を充実してまいります。どうか本年も、より一層のご理解、ご協力をお願いするともに、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

